

美ら海壊すな！土砂で埋めるな！

5. 26国会包囲行動同日アクション



日時 5月26日(土)
18:30

場所 中之島公園水上ステージ
(大阪市中央公会堂横)

集会後、西梅田公園までデモあり



沖縄防衛局は名護市辺野古への新基地建設で、埋め立て本体工事として6件の契約を公表しました。「中仕切り岸壁」や「二重締め切り護岸」の新設などで、契約額は合計415億円になります。

日本政府は県民の民意を踏みにじり、違法な護岸工事を強行しています。既に護岸で囲んだ海域に7月にも土砂投入する方針です。土砂が投入されると美しい海は壊されてしまいます。「もう工事を止められない」と諦めさせるために翁長県知事の許可もなく工事が進められていますが、埋め立てられようとしている辺野古の海底地盤は、豆腐のような超軟弱地盤で、さらに活断層の存在も明らかになり基地建設に向いていない場所なのです。

辺野古・大浦湾は絶滅危惧種262種を含む5,300種以上の海洋生物の生息地でもあり、絶滅の恐れが最も高い哺乳類のジュゴン（絶滅危惧IA類）が生息するなど、生物多様性に富んだ海域なのです。環境破壊を絶対に止めなければいけません。

おばあ、おじいは「戦後、これまで生きてこられたのはこの海のおかげ。その海に、命を奪う基地を造らせるわけにはいかない。子や孫、次の世代に基地を絶対に残したくない」と座り込み行動を継続しています。

県民が闘いを強化し全国の人々が立ち上れば、基地建設を止めることができます。

沖縄と全国の力を一つにして辺野古新基地建設を止めるために5月26日14時から 国会包囲行動が取り組まれます。大阪でも5.26行動に多くの皆さんの参加を呼びかけます。

主催：Stop! 辺野古新基地建設！大阪アクション

呼びかけ19団体

辺野古に基地を絶対つくらせない大阪行動。沖縄とともに基地撤去をめざす関西連絡会。「しないさせない！ 戦争協力」関西ネットワーク。沖縄意見広告運動関西事務所。ジュゴン保護キャンペーンセンター。日本キリスト教団大阪教区沖縄交流連帯委員会。日本キリスト教団大阪教区社会委員会。沖縄の高江・辺野古につながる奈良の会。関大校友連絡会。9条改憲阻止共同行動。釜ヶ崎日雇労働組合。辺野古の海に基地をつくらせない神戸行動。基地のない平和で豊かな沖縄をめざす会。緑の大坂。岩国・労働者反戦交流集会実行委員会。大阪教育合同労働組合。関西・沖縄戦を考える会。学生企画ネットワーク。辺野古に基地を絶対つくらせない宝塚サイレント行動